

消防だより No.40

羽島郡広域連合



多数傷病者発生訓練を実施



多数傷病者発生訓練

令和3年12月1日、旧笠松町学校給食センターで多数傷病者発生訓練を実施しました。

「鉄骨2階建ての建物解体作業中、複数の作業員が体調不良を訴えている。」という想定のもと、現場本部の部隊運用、傷病者の救出及び搬送、トリアージ、救護活動といった多数傷病者発生時の活動内容を再確認しました。

羽島郡広域連合消防本部 公式ホームページ
<http://www.hashimagun-fd.jp/>



羽島郡広域連合消防技術競練会

令和三年十一月十五日、当消防本部において、消防技術競練会を実施しました。この競練会は、消火活動や救助活動に必要な消防技術の向上と隊員の士気の高揚を図り、実災害に有効適切な消防活動を行うことを目的としています。耐火建物の一階部分より出火し、二階へ延焼中、建物内に一名、屋上に一名逃げ遅れた人がいるとの想定のもと、消防隊は人命救助及び延焼防止、救助隊は屋上からの高所人命救助を実施しました。隊員らは、実戦さながらに競技を繰り広げ、日ごろの訓練成果を競い合いました。



ドローンからの空撮



消防隊による延焼防止



優勝：林小隊（東消防署）



救助隊による高所救助

電柱事故救助訓練を実施

令和三年十月二十六日、二十七日の二日間、岐阜市の株式会社トーエネック岐阜南営業所において当消防本部救助隊が電気災害を想定した救助訓練を実施しました。

この訓練は、電気、電柱等に関する知識を深め、柱上という特殊条件下において、安全に救助活動を行うこと、隊及び個々の救助技術のレベルアップを図ることを目的として実施しました。



トーエネック職員による電柱の設備や活動上の注意点などの講義を受けた後、電柱を使用した実技訓練を実施しました。



足場がない柱上での活動は、資機材の使用や行動が制限され、いかに活動が困難であるかを改めて認識しました。



今回の訓練を通じて、電柱上での救助活動における感電防止の重要性と迅速な活動をするための技術を習得することができました。

救急車の適正利用にご理解とご協力を！

近年、軽い症状でも救急車を利用する人が増え、社会問題になっていきます。

このような状況が続きますと、遠くの消防署から救急車が出動することになり、到着が遅れることで、救える命が救えなくなる恐れがあります。一一九番通報する前に、救急車が本当に必要か、自家用車やタクシーなど一般の交通機関を利用できないか、もう一度考えてください。ただし、命にかかわる病気やケガで緊急に病院へ行かなければならない場合は、迷わず一一九番通報してください。救急車を本当に必要とする人のために、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

羽島郡地域救急医療情報センター 058 (388) 3799

どこの病院に行けば良いのか分からない…。そんな時は、こちらに電話すれば夜間・休日でも診察可能な病院をご案内します。

49年ぶり『火災による死者ゼロ！負傷者ゼロ！』達成

令和三年 消防統計



春季全国火災予防運動

令和四年三月一日～七日

令和三年中に当消防本部管内で発生した火災・救急・救助出場の概要は次のとおりです。

火災件数は、八件で前年と比べ五件の減少となりました。火災種別では、建物火災五件、車両火災一件、その他の火災二件となりました。

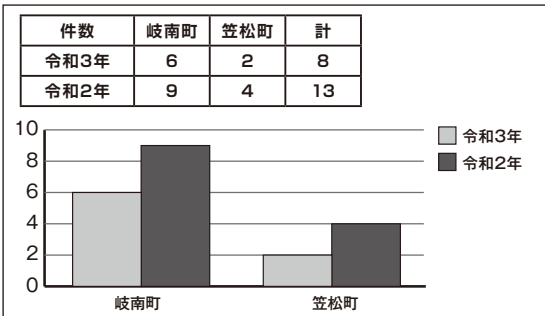
火災による死傷者は、前身の羽島郡消防事務組合時代から数え、実に四十九年ぶりに0人となりました。この結果は住民の皆さんの高い防火意識の成果です。これからも死傷者ゼロを継続できるよう、火の取り扱いには十分注意しましょう。

出火原因別では、放火、放火疑い、たばこ、こんろ、配線器具、不明が各一件、その他が二件となりました。

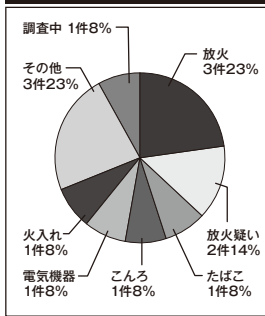
救急出場件数は、千九百六十九件で前年と比べ百五件の増加となりました。また、出動種別のトップは急病の千二百四十三件で、全体の六十三%を占めました。

救助出場件数は、二十八件で前年と比べ十七件の増加となりました。また、出動種別のトップは交通事故の十八件で全体の六十四%を占めました。

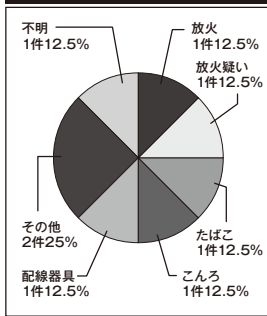
町別火災件数



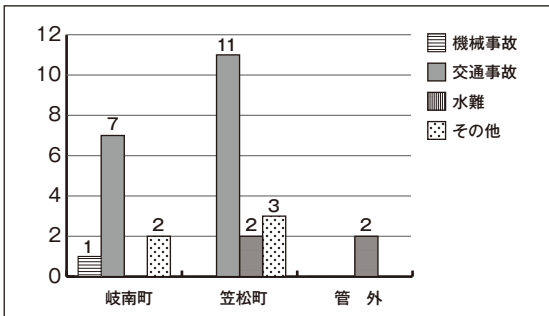
令和2年 総件数13件



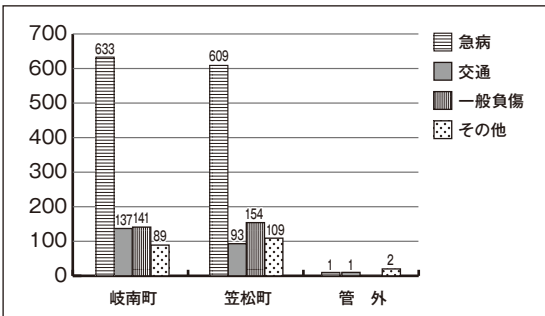
令和3年 総件数8件



令和3年中の町別救助件数



令和3年中の町別救急件数



- 今年も春季全国火災予防運動が実施されます。
- この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。
- 今年の重点目標は、次の六つです。
- 住宅防火対策の推進
- 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- 放火・放火防止対策の推進
- 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- 期間中には、火災予防ポスターの配布、巡回広報を行います。

「おうち時間 家族で点検 火の始末」

二〇二二年度全国統一防火標語

- ◎住宅防火
- いのちを守る十のポイント
- ～四つの習慣・六つの対策～
- 【四つの習慣】
- 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろを使うときは火のそばを離れない。
- コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

【六つの対策】

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的点検し、十年を目安に交換する。
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。



ドローン活用事例

当消防本部では、岐阜東南ロータリークラブから無人航空機(以下ドローン)二機を寄贈いただき、令和二年十月一日から運用を開始しています。運用から一年以上が経過しドローンの出動回数も増えてきました。そこで今回は、ドローンを活用した事例を二例、ドローンからの空撮写真を交え紹介します。

事例1

日時 令和三年三月某日
場所 羽島郡岐南町地内
木曾川河川敷
概要 枯草が燃え広がったもの

この火災は、強風により枯草が短時間の内に広範囲に燃え広がりが消火が困難な状況でしたが、ドローンを活用し上空からの情報を得ることで、延焼方向や飛び火先を多角的に捉えることが可能となりました。指揮隊はその情報を基に、最適な場所への人員配置を行い、効果的な消火活動により被害を最小限に抑えることができました。

事例2

日時 令和三年八月某日
場所 羽島郡笠松町地内
木曾川
概要 木曾川に人が流されたもの



この水難事故は、通報者から中州に人のような物が流れついているとの通報を受け出動しました。ドローン導入以前は木曾川に到着後、ボートを組み立て、通報情報に基づき多数ある中州を広範囲にボートで捜索をする必要があり、傷病者発見までに時間を要していました。しかし、現場到着後すぐにドローンにより上空から確認できるよう

早期に傷病者の位置が特定でき、直ちに傷病者に接触することで活動時間を短縮することができました。



今後とも操縦技術向上のために訓練を重ね、日々発生する災害はもちろん、今後も起こりうるであろう「想定外の災害」への対応力強化を目指してまいります。



消防職員意見発表会

令和四年一月十八日、当消防本部大会議室で、消防職員意見発表会を開催しました。

この意見発表会は消防職員の資質の向上を図るため、毎年行われているもので、消防本部・西消防署・東消防署から選出された職員十名が、「消防・防災に関すること」をテーマに意見を発表しました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、審査方法をビデオ審査へと変更し、聴講者を入れずに実施しました。

羽島郡二町教育委員会教育長、岐阜県消防学校教頭、当連合会計管理者による厳正な審査の結果、次の職員が選ばれ、最優秀賞の一名が二月十八日の岐阜地区大会に出場しました。



最優秀賞



消防士長 小池 友哉

優秀賞



消防士長 多田 圭介

努力賞



消防副士長 桑原 寛明



消防士長 酒井 聖幸